

## 小学生の部

### 優秀賞 (10句)

一等賞とって父の日プレゼント	(石狩小4年 小野 紗耶加)
ブランコでぐっとこげば青い空	(花川小5年 田中 優名)
朝起きて窓を開ければ雪景色	(花川小6年 萩坂 太一)
新しい水着でとびこむ海水よく	(南線小3年 後藤 涼花)
夜桜が散りゆく季節夜の風	(南線小6年 勝山 天海)
かぶとむしたかくのぼってうれしそう	(紅南小1年 高橋 壮汰)
夏祭りたいこの音がひびく夜	(紅南小4年 上窪 綾華)
スタンプで思い出の汗かきました	(紅南小6年 辻井 汐香)
騎馬戦を応援しているせみの声	(紅南小6年 菊地 栞)
青空で泳いでみたいと思う夏	(双葉小6年 桑原 瑠菜)

### 佳作 (20句)

かくれんぼ頭かくして白い息	(花川小5年 中村 湊晋)
石狩の笑顔あふれる鮭祭り	(花川小5年 渡部 樹)
バッタがねはねているよ王様だ	(南線小3年 佐賀 優翔)
ソーメンがいつ流れるかドキドキだ	(南線小3年 赤山 結衣)
山のぼりしんどい山をのりこえる	(南線小5年 小林 心優)
山登り聞こえてくるよせみの声	(南線小5年 芹野 大成)
うまのほほおしのけつみたいすみれぐさ	(南線小6年 栗田 みのり)
ほほなでるやさしい風が春を呼ぶ	(南線小6年 大森 美咲)
日に焼けて服を脱いたら黒と白	(南線小6年 山口 泰史)
初夏の風ざわざわ話す緑の木	(南線小6年 小林 礼奈)
銀の月氷の大地みな眠る	(南線小6年 三浦 和紀)
初夏の風木もれ日揺らしやさしかな	(南線小6年 小林 恵理子)
夏の海光り輝く宝石だ	(南線小6年 清水 康多)
かきごおりあたまがきーんつめたいな	(紅南小1年 中井 大翔)
木の下でたくさんのひとすずしそう	(紅南小2年 水谷 真悟)
ソーダすいピリピリはねておいしいな	(紅南小3年 田中 寧音)
七色にキラリと光るしゃぼん玉	(紅南小3年 鈴木 ゆら)
夏の日の燃える野球にあつくなる	(紅南小5年 中島 優人)
青蛙この鳴く声は夏の声	(八幡小6年 須藤 鷹也)
たなばたは私の中のおひめさま	(双葉小6年 浅野 滯)

<b>【中学生の部】</b>	
<b>優秀賞（10句）</b>	
炎天下かげろう動く道の先	（花川中1年 石王 大地）
炎天下ゆらりとゆらく僕の影	（花川中2年 岡 晴香）
蝉の声たった一週の尊さよ	（花川中2年 鈴木 慶司）
寝転びて網戸を見ればせみの影	（花川中3年 齋木 のぞみ）
オリオンをなぞる指先冬の空	（花川中3年 石田 健太）
流れ星叶わぬ恋と知りながら	（花川中3年 平山 恵都）
げたの音円になりけり盆踊り	（花川南中3年 別所 真帆）
新緑の光溢れる通学路	（樽川中3年 松林 奈波）
夕焼けの親と子遊ぶ紅葉山	（樽川中3年 見上 健太）
鉢植えのトマトの実る季節かな	（樽川中3年 一戸 祐矢）
<b>佳作（20句）</b>	
春の風ちいさな命まいていく	（石狩中3年 石原 ゆな）
カラフルな色が飛び交う体育祭	（石狩中3年 吉岡 未来）
たなばたの夜空の星に願い事	（花川中1年 岩崎 凜）
ふうりんのおとでかんじるかぜのこえ	（花川中1年 五十嵐 あみ）
浴衣着たあなたを見たら恋心	（花川中1年 岩岡 優人）
流れ星かなえばいいな願い事	（花川中1年 坂野 雄大）
夏の海真っ赤な太陽浮び出る	（花川中2年 高橋 太響）
鳥の巣立ちいつか自分も鳥になる	（花川中3年 小林 保乃花）
夏祭りやけに甘いなりんごあめ	（花川中3年 蛭名 佑乃）
雪景色名もない画家から贈り物	（花川中3年 石川 みにい）
蛭烏賊春を教える道するべ	（花川南中3年 阿部 宏保）
おかえりとほほえむように涼風が	（花川北中3年 中山 茉侑）
残雪が日々消えてゆく手稲山	（花川北中3年 丸山 陸）
手稲山窓から見える雪景色	（樽川中3年 坂東 昌哉）
年賀状手書きにこだわり間に合わず	（樽川中3年 首藤 愉珍）
草あつめ小さな蓑虫冬支度	（樽川中3年 高関 優花）
春を待つ厚田の海やかもめ鳴く	（樽川中3年 加藤 優喜乃）
海風にはまなすかおる港町	（樽川中3年 吉谷 迪果）
ホーホケキョ毎日聞こえる校舎裏	（厚田中1年 渡邊 遥）
たんぽぽをふまないように通学路	（厚田中3年 槻館 妙香）

【選者】
小泉 千孝 氏 (石の花俳句会)
樋口 博 氏 (石狩文芸同好会)
五十嵐満行 氏 (石狩憩吟社)
笠原 泰江 氏 (石の花俳句会)